



平和の森



本校マスコットキャラクター ためきのポン助ときつねのへえちゃん

学校だより 11月号
令和 6年 11月 1日
中野区立平和の森小学校
校長 山崎 義弘
<http://nk-heiwanomori-e.a.la9.jp/>
TEL 03-3389-1451



中野区予算を活用して 文化芸術予算 子どものための予算

中野区では、子どもたちが文化・芸術に親しめるように、各学校に文化・芸術のために活用する予算を配当してくださっています。7月19日(金)には和太鼓のプロ集団「塚本準也様と準プロジェクト」の皆様にお越しいただき、和太鼓の演奏を鑑賞しました。

また、今年度から、子どもたちが考えた活動を支援するための予算も配当されています。本校の代表委員の子どもたちが、「子どものための予算」の活用について話し合ったところ、「みんなを元気にすること」「学芸会があるので劇について学べること」「スポーツ選手と交流すること」という希望が出てきました。そこで、劇団の方々による劇を観ること、劇団の方々による表現のワークショップを行うこと、スポーツ選手の講話を聞いて一緒に運動することを企画しました。12月には、元Jリーガーにお越しいただき、英語でサッカー教室を行う予定です。



「ガクモンの神様」 観劇

10月8日(火)に、劇団「仲間」の皆様をお招きし、観劇をしました。参加型演劇で、子どもたちが劇を観ながら思ったこと・考えたことが劇に取り入れられて進行しました。子どもたちが書いたお礼の手紙・感想をご紹介します。



- このたびは、げきの公演をしにきてくださり、ありがとうございます。私は、「ガクモンの神様」を見て、全部で2つのことを学びました。一つは、役者の人が自分を消して演じることです。自分が演じるもう一人の自分として劇を演じると感情を込めやすいと思いました。次に、声を大きく出すことです。声を大きく出すと、より自然に話にとけこめると感じました。このたびの劇の公演をもとに学芸会でがんばって演じたいです。
- 「ガクモンの神様」おもしろかったです。おもしろいところはたくさんあります。Youtube 中毒やスマホ中毒は今の自分や世界の子どもたちみんなにとって身近ですね。
- この劇を観て、わからないことをすぐ調べたり聴いたりするだけでなく、自分でまず考えて、考えるわくわくを楽しめればいいんだなと思いました。役者の方のセリフのタイミングや息がそろっていてとてもすごかったです。

表現ワークショップ

10月15日(火)、22日(火)に、劇団「仲間」の皆様にお越しいただき、心を開いて表現力豊かに演技するためのワークショップとして、特別授業を行っていただきました。



小中連携 野方地区まつり

10月19日(土)に行われた「野方地区まつり」で、吹奏楽団がすばらしい演奏を披露しました。野方地域の方、学校の先生方から多くの称賛の声をいただきました。

その中で、中野中学校と合同演奏も行いました。中野中学校の生徒の皆さんは、土曜日の練習に参加して下さることもありました。小学生と中学生が交流することで連携が自然に行われていると感じます。





あつまれ



あつまれ！平森祭

今年は新しくお店を紹介するCM集会和各部門で頑張った班を表彰する試みを行いました。CM集会上では全児童が体育館に集まり、緊張しながらも舞台上で発表するよい機会になり、笑いも起きていました。平森祭を開くために6年生の代表児童が休み時間に班長会議で打合せを行い、班のみんなで役割を決め、力を合わせてお店づくりをしていました。そのおかげで、みんなが楽しい時間を過ごすことができました。



6年生 連合運動会



～短距離走～



～混合玉入れ～



～選抜リレー～



10月4日(金)に中野中学校の校庭で、桃園第二小学校と桃花小学校と連合運動会を開催しました。この連合運動会は、小小連携教育の取組の一つで、児童が交流を深めることを目的として行われているものです。今年度は、「短距離走」「混合玉入れ」「選抜リレー」の3種目でした。「短距離走」では、スタートダッシュに緊張しながらもゴールめがけて一生懸命走る姿が見られました。「混合玉入れ」では、3校の混合チームでかごいっぱいを目指して玉を投げ入れました。「選抜リレー」では、バトンをスムーズに渡し、朝練習の成果を発揮することができました。練習や出発の時には、1～5年生からたくさんの声援を受けました。当日、応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

野方地区まつり 作品展

10月19日、20日に行われた「野方地区まつり」では、子どもたちが図画工作の学習で制作した作品が展示されました。地域の方にご覧いただけるよい機会をいただきました。



